リフォームに、新築に、
住まいづくりのほっとな話題をお届け！

おうちのはなし

2021.4月号223

わが家は『健康一番家』
＜発行人＞
株式会社　大成建託
☎0280-87-6177
✉info@fp-taisei.co.jp
〒306-0405 茨城県猿島郡境町塚崎2542-1

Timber Crisis　木材危機がくる!?

― コロナ禍がもたらした意外な影響

- さらば、ニューヨーク
- 木材が足りなくなる
- 国産材を使おう

NEWS

令和3年10月31までに契約を締結した方が対象です。

グリーン住宅ポイント制度

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ経済の回復を図るため、一定の性能を有する住宅の新築やリフォームに対して、様々な商品や追加工事と交換できるポイントを付与する制度：**グリーン住宅ポイント制度**が始まりました。新築で最大40万ポイント、リフォームで最大30万ポイントが獲得できます。（一定の要件を満たせば新築で最大100万ポイント、リフォームで上限45万ポイントに引上げ。） 新築やリフォームをお考えの方にはお得な制度です。
興味のある方はお気軽にご相談ください。

詳しくはこちら>>
https://www.fp-taisei.co.jp/archives/news

笑う門には福来たる　壮年Diary ～とある、ひとこま～

健康だいすき！

コロナ禍による在宅時間の増加とともに、空間の“空気の質”に対する関心が高まり、家庭でもできる感染予防策として「空気清浄機」と「加湿器」の需要が急増しているそうです。

2020年、空気清浄機の出荷台数は前年比約４３％増、金額では約２倍。加湿器も出荷台数は　約３８％増、金額は約６１％増との事でした。

昨年は、例年より花粉の飛散量も少なく、また、インフルエンザの感染も前年比で圧倒的に少なく、そのままなら「空気清浄機」の出番はなかったはず。しかし、コロナの感染拡大が消費者の清潔意識を高め、市場を大きく拡大させることに。各メーカーそれぞれ、多種多様な機器を販売おりますが、思わぬ特需で増産を重ねての対応となったそうです。

弊社でも、数年前から「サーキュレーション空気清浄システム」を住宅に取り入れ、室内の温度差を解消しながら空気清浄し、健康一番でお過ごしいただいております。

目に見えない「空気」、しかし、一番大切な「空気」。これからは贅沢な空気に包まれて暮らしてみませんか。

＜お詫び＞ ※先月(3月号)壮年Diaryの中ほど「１日の平均値が70μm(マイクロメートル)を超える時は、」とありましたが、正しくは、「１日の平均値が1㎥あたり**70μg(マイクログラム)**を超える時は、」です。申し訳ございませんでした。

社長コラム　空気にこだわって

パンデミックの世界

経験したことのないコロナウィルスの全世界的なパンデミックによって、多くのことが変わろうとしています。感染を広げないために人の活動を抑制すれば、経済活動も止まり、グローバルに生産体制ができあがっている現代では、世界に比べれば比較的感染が抑えられている国でも大きな影響を受けることになります。様々な経済活動は、思わぬところで繋がっています。
私たち日本の、住まいづくりにも大きく関わる驚きのニュースが飛び込んできました。
「Timber Crisis」ともいうべき兆候が現れ始めているのです。

木材危機が来る!?
TIMBER CRISIS

新型コロナウィルス感染爆発によって、日本でも２度目の緊急事態宣言が発令され、大きく生活感が変わってきました。しかし反面、少しずつ慣らされてきている部分もあります。

例えば、当初は中国武漢が封鎖され、国の交流も閉ざされると、武漢の生産部品を待っていた世界各所の工場が停止していました。しかし、1年ものパンデミックが続くと、人の動きは止まったままでも、物流だけは動いて工場が止まる話も聞かれなくなりました。

それは住宅も例外ではなく、洗浄便座の部品が供給されないことで、日本の建築現場が止まるという事態もありましたが、今では忙しく動いているのが現状です。

また、パンデミックが始まった当初は暴落した株価も、今では逆に高騰しています。中国を除く国々の経済成長率がマイナスになり、各国が所得の減った国民に経済的な支援策を講じているにもかかわらず、市場では資金があふれているといいます。どうやら、現代社会の中では、パンデミックと経済は、19世紀に起きた大恐慌のような単純な関係ではなさそうです。現実に、中国やアメリカなどでは、住宅バブルといえるほど活況を呈しているというニュースも聞こえてきます。

加えて、リモートワークなどで人と直接会って話をする機会を減らす生活様式が始まると、家に対するニーズも変わってきます。

さらば、ニューヨーク

感染者数･死者数も世界一被災を受けているアメリカの中心地、ニューヨークでは人口流出が止まらないといわれています。

大都会の都心に住めば楽しめたはずのエンターテイメントやファッション、世界中のグルメを供給する店が閉され、家にこもってリモートワークしている状況を改善しようと、人々が動き始めているのです。高い家賃を払って共同住宅にこもるよりも、郊外の一戸建てを手に入れ、必要な時にニューヨークに出かければ良い事です。すでに相場より約2割高くなった住宅にも、すぐに買い手がつき、今後も続くといわれています。

逆に、都心部の共同住宅では、家賃を25%値下げし、さらに入居3ヶ月間家賃を無料にして借り手を探しますが、8割以上が空室のままだといいます。マンハッタンの空室数は、1年前から比べ２倍になりました。これによって、1年間で7万人もの人口が減り、この状況が続くと、ニューヨーク市の将来的な財源の問題にもなりかねないと危惧されています。

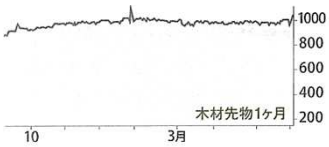
同様の傾向は、日本でも起きています。これまでどこの府県よりも一貫して上り続けていた東京の人口が、パンデミックの年は減少に転じ、転入してくる人よりも、転出する人の方が多くなりました。

新型コロナウィルスによって、求められるようになった各個人の生活様式の変化が、結果的に都心離れという形で現れているのです。加えて驚きのニュースは続きます。

木材先物取引価格

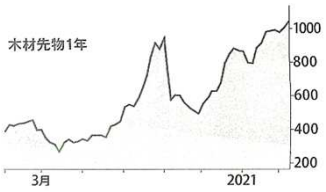
アメリカや中国はじめとした国々で、住宅への投資が過熱化してくると、さらに様々な影響が広がります。例えば、住宅をつくるのには欠かせない木材の価格に着目してみましょう。

国際金融市場関連の情報が集積されている「Investing.com」の中に、世界で流通している木材先物取引価格のデータが公表されています。直近の１ヶ月間を見ると、比較的安定しているように見えます。

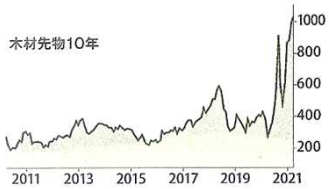


よほど木材関連の仕事を手がけていない限り、現在の価格が高いのか安いのかは、わからなくて当然です。ただ、価格の変動をグラフ化して見る大きな動向はつかめます。

新型コロナウィルスのパンデミックが始まった直近１年間の動向となると、木材先物価格が大きく変動していることがわかります。そして、2021年に入ってから工材価格が高止まりしていることも明確です。



さらにこの状況が、どれほど特異的なものであるかを知るには、10年間の先物取引価格を見るのが良いでしょう。



じつは、この１年の間に異常と思われるほどの高騰が起きていることが明白になります。国国債市の中では、木材の奪い合いが起きかねません。まさに、Timber Crisis(木材危機)の兆候が見え始めていると考えたくなります。

木材が足りなくなる?

例えば、日本の国土に占める森林率は約70%と高いものですが、アメリカや中国は約20%の森林率しかありません。両国とも砂漠の多い国なのです。

木材は、住宅を建てるだけではなく、石油と同じように広い範囲で活用しています。中国の人口は日本の約10倍あり、このような人口の多い国の経済活動が進めば進むほど「Timber Crisis」の可能性は高まるばかりです。

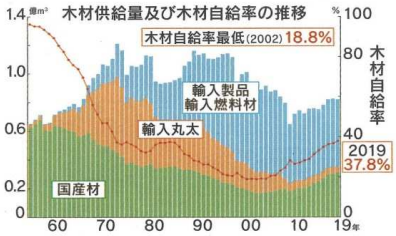
現実に、中国はアフリカの途上国に支援をする形で森林を切り開いています。急ピッチで森林資源の確保を進める行動は、経済的な植民地化と欧米諸国からは警戒されているほどです。

日本では日本書紀が書かれた時代から、そして江戸時代にも盛んに植林が行われ、大戦後の70年をかけて人工林が育ってきました。アフリカの森林開発は貴重な自然林を失うことにもつながりかねません。一度伐採してしまえば、半世紀以上を待たなければ人工林は完成しないのです。

国産材率の向上

しかし、これだけの森林と木材を抱えていて、日本は多くを輸入に頼っているのが現状です。2002年には木材の自給率は18.8%にまで下がりました。日本の森から木材を伐ってくるよりも、外国から輸入した方が安くあがるのです。

70年という期間をかけて育ててきた木材が活用できない事は、森林事業者の活躍の場も失い、結果的には山も荒れることとなります。環境的には、まさに、大きなジレンマを抱えることとなりました。こうしたことから、国産材の活用が推進され、2019年には37.8%まで回復してきました。中でも丸太として輸入する木材が大きく減っています。



じつは、国産材の動きもまた、新型コロナウィルスの感染拡大によって別の影響を受けています。輸出入の停滞によって流通が止まり、国産材が余ってしまっています。先物の不足感とは逆の動きです。この状況を打破するために「過剰木材在庫利用緊急対策事業」を立ち上げ、時限的に国産材の活用を推進しています。日本の木材も少しずつ輸出資源になろうとしているのです。

しかし先物取引として、海外木材の価格が高騰することは、国産材の価格も上がると懸念されます。住宅を建設するには多くの木材を必要としますので、新築住宅の価格も当然のように上がることが予想されます。

新型コロナのパンデミック以前から各種の経済対策が実施されて金利も極めて安くなり、住宅を手に入れやすい時期が続きました。加えて新しい生活様式に伴う住宅需要に世界が動けば、次の兆候が表れます。

長期金利が上がりつつあり、住宅ローン金利も上昇傾向にあります。加えて、木材価格の高騰で、住宅価格に影響がでます。

住宅ローン金利は、たった0.5%上がるだけで、返済総額は9%ほど増え、消費税に相当するほどの負担となります。さらに住宅価格が上がることを考えると、間違いなく近い将来には、家を求めることが容易でなくなる可能性があるのです。

木造住宅の価値

このような木材需要の時代を見越せば、住宅の価値も変わる可能性があります。

例えば、見積書を見た時にも、総額の比較だけではなく、どれだけの木材が使われ、さらに国産材の割合も確認しておくのです。何よりも貴重な木材を使っているのですから、大事な目安になります。

各地に残されている古民家も、改修が大変と思われて重荷になっていますが、木材の価値として見直せば、大変な財産に見えてきます。しかも長い時間をかけて乾燥が進み安定した材となっているのでなおさらです。

さらに木材は、2050年までにCO_2ゼロを目指す上でも大切な役割を果たしています。CO_2を排出しない再生エネルギーを推進する排出削減策に加えて、CO_2固定化の新技術と並んで植林による固定化が負の排出削減として期待されているからです。

日本の木材資源は伐採期を迎えて、新しく植林の時期を迎えています。植林を進める為にも、木材を有効活用する必要があります。その活用法の中でも耐久材である住宅は、長くCO_2を固定化させるので、脱炭素化へ貢献できるのです。国産材を使用することは、この点でも重要なポイントとなっていることは間違いありません。

そんな環境への貢献度も含めて、住宅にどれだけの木材を使っているかを考えることはさらに大切なことです。

すまい文化の栞

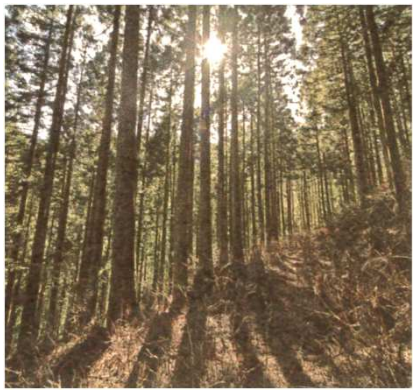
木を植えよう…

日本は世界の中でも有数の森林国です。国土の７割が森林となっています。もちろん、それは自然の力がもたらした恩恵に他なりません。

ところが、その41%が人工林です。単純に計算すると、日本人は国土の約30%近くを植林してきたということです。
そしてそれは、ずっと昔からの日本人の努力が重なったものです。

青森の三内丸山遺跡では、周辺に育っているクリの木の遺伝子調査から、よく実のなる樹木が選ばれていたことがわかっています。食料と建材を確保するために、クリの植林が行われていたのです。

また、日本書紀には神話の世界での植林風景があります。スサノオノミコトが、髭を抜いて投げればスギとなり、胸毛を抜いて投げるとヒノキとなります。眉毛はクス、尻の毛はマキになります。



植林とは思えない風景ですが、じつはこの前の段には、韓の国の武力に対抗して舟を建造するための樹木を育てる施策を考えています。植林の方法は現実とは大きく違いますが、スサノオノミコトは国を守るために、植林をして国力の向上を図ったのです。

中でも、船によく使われる材料は、薄く割けて曲げることのできるスギと、水にも強いクスノキです。ですから、首から上の大事な毛が使われていると考えると、樹種への考え方もわかります。

その後、戦国になれば城をつくるのにも木が必要となり、広く伐採したその場所に木を植えたことで、現代のような人工林ができあがってきました。そして、昭和の戦争で木を使い果たし、戦後に植えた木が今私たちの財産となっています。

Health & Sustainability

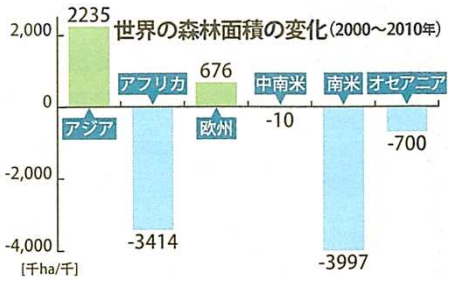
文明存続のバランス

今や死因の第一位となり３～４人に１人の命を奪っているがんですが、もともとがん細胞は自身の細胞です。ふとしたきっかけから自然死して生まれ変わることを忘れてバランスを失った細胞ががんになります。増殖を繰り返すことで転移し、やがて本人の命まで奪ってしまうのががんです。

正常な細胞活動のように見えて、じつは暴走を起こしかねないがん細胞と、同じことをどうやら地球の上で、私たち人間が行っている可能性があります。

例えば、アメリカやヨーロッパの風景を見ると、世界の食料を支えてくれるほど広大な農地や牧草地が拡がっています。でも、おそらく本当はどちらも大きな森林に囲まれていたはずです。

同じくらいの森林伐採が、アフリカやアマゾンで行われています。アフリカのスイスといわれたルワンダの国土の８割を占める森林は、



７%になってしまいました。ソマリアは20年間で、国土全体がほぼ砂漠化し、エチオピアでも全森林の９割が失われました。かといって、貧困に困っている国々は、森林を売り、お金を稼げる農地にしなければ世界経済に遅れたままとなります。じつは、古代の多くの文明も、周囲の森林を伐採したことで滅亡してきました。穀物を食べるのにも、暖を取るのにも、鉄を生成するのにも、陶器を焼くのにも、木を伐らなければなりません。そして木を使って都市を築くほど、人口が増え、そのスピードは速くなります。

このようにみると、まるで地球ががんに侵されているかのように見えてきます。がん細胞にとっては、単純な自身の生存戦略にすぎませんが、母体である人、あるいは地球には命の存続にも関わるほどの大きな傷を与えているのです。改めて人の力で、森林を育てる努力をしなければいけない時がきているのではないでしょうか。

～編集後記～

４月に入り、暖かな日が続いています。桜の花びらが舞い、木々の新芽が出はじめました。皆様いかがお過ごしですか。

先日、コロナの影響でお休みだった、自分の唯一の運動の場が再開できるとのことでしたが、急遽中止に。あぁ･･･。不完全燃焼の自分はその足で甘いものを買いにスーパーへ。これがダメなんですよね。。。

すまレピ

すまいのレシピ

自然の中の子ども部屋

壁や天井全面に、淡いグリーンのアクセントクロス、その上に大きな木のステッカーを貼って、自然にいるような印象的な空間に。窓の鳥かごにも遊び心とワクワク感が感じられます。

たいしんしんだん
耐震診断

30年以内に巨大地震が起こる確率は70%以上。
巨大地震は、いつ起きてもおかしくはありません。

※このような方は、耐震診断をご検討ください。
- ☑ 昭和56年以前に建てられた住宅に住んでいる方
- ☑ リフォームを考えている方
- ☑ リフォームや改修は10年以上したことがない方
- ☑ 過去に増改築された住宅に住んでいる方

有資格者による耐震診断承ります

まず「家の弱点」を知ることが重要です。当社は耐震診断のプロ「耐震診断士」による現地調査・診断を実施しています。

～住まいは命を守るもの～

「地震に強い家」は、わが家は『健康一番家』の最大の特徴です。

わが家は『健康一番家』
株式会社大成建託
〒306-0405
茨城県猿島郡境町塚崎2542-1
☎0280-87-6177
健康いちばんや

わが家は『健康一番家』
株式会社 大成建託　☎ 0280-87-6177

優秀賞 HOUSE OF THE YEAR IN ENERGY 2017

「おうちのはなし」バックナンバーは弊社ホームページでご覧いただけます。
健康いちばんや
ホームページ https://www.fp-taisei.co.jp

旬を食べよう！

フライパンで簡単にできる！

えびとあさりのパエリア

729cal
塩分2.1g

～　材料（２人分）～

- 米・・・・・・(180ccカップで)1½カップ
- 殻つきあさり・・・・・・300g
- えび・・・・・・・・・・6尾
- 生しいたけ・・・・・・・5枚
- 緑･赤ピーマン・・・・・ 各2個
- さやいんげん・・・・・・60g
- にんにくのみじん切り・・1かけ分
- 玉ねぎのみじん切り・・・½個
- プチトマト・・・・・・・6個
- 固形スープの素・・・・・½個
- サフラン・・・・・・・・小さじ1
- オリーブ油・・・・・・・大さじ3
- 白ワイン・・・・・・・・大さじ2
- 塩、こしょう・・・・・・各適宜

＜作り方＞

① 米は洗ってざるに。あさりは砂出しをして洗い、えびは背わたを取る。

② しいたけは4つ割り、ピーマンは一口大、さやいんげんは2cm長さに切っておく。

③ 鍋に水540ccを煮立て、固形スープの素、サフランを加えて煮立てて色を出す。

④ フライパンにオリーブ油を熱し、にんにくと玉ねぎを入れてしんなりするまで炒める。

⑤ ④にえび、あさりを加えて、えびが少し色づくまで炒める。

⑥ ②の野菜を加えて炒め、白ワイン、塩、こしょう各少量で調味する。

米が透き通るまで炒めると風味よい仕上がりに。

⑦ 米を加えて米が透き通るまで中火で炒める。具のうまみが米に移っておいしくなる。

⑧ 全体に油が回ったら、③の熱々スープをサフランごと注ぎ、塩小さじ⅓、こしょう少量で調味する。

⑨ 過熱が平均に出来上がるよう、えび、あさりなど具を均一に並べる。

アルミ箔をかぶせてふっくらと炊き上げます。

⑩ アルミ箔をかぶせて弱火にし、途中でへたを取ったプチトマトを加えて、15～20分蒸し煮する。さっと混ぜて器に盛ったら出来上がり。

おかえり！のぶちゃん

ガーデニング編

クナイプ療法

ドイツでは、森林療法にも保険が適用されています。

「森林療法」は、森などの自然空間に入り、そこでゆっくり過ごす治療法のことで、古くから実践しているドイツでは「クナイプ療法」の名前で知られています。

19世紀の後半、ドイツの神父セバスチャン･クナイプが確立した自然療法です。神父自身が重篤な肺結核に冒されていたのですが、冷水浴などの自然療法を組み合わせて健康を回復、それを誰でも行うことができる一般療法として確立し、その後、医師会の手でまとめられました。現在も「自然療法」として医科大学の正課に組み込まれており、「クナイプ療法士」は国家資格にもなっています。

「水療法」「運動療法」「植物療法」「食療法」「調和療法」の５つが柱となり、運動療法の一つに「森林散策」が組み込まれています。

治療を希望する人は「クナイプ療法士」の診察を受け、３週間にわたる療法のメニューを受取ります。

そこには、治療者の症状改善に有効と考えられる森林散策のコースが、具体的に指定されています。コースには、自然観察の場所が設けられていたり、裸足で歩くことを推奨した場所などがあり、楽しく、また五感を刺激する工夫も行われています。

この３週間の療法にはドイツでは保険が適用され、国を挙げてこの自然療法が推奨されています。森を歩くことは、それだけで気持ちの良いことですが、保険まで適用される治療法になっていると考えれば、もっと積極的に活用しておいても良いのかもしれません。

住まいづくりで「空気」について考えたことはありますか？
キレイな空気で暮らす家
～毎日ふれる空気だから、いちばんこだわりたい。～
集塵効率98.5%！PM2.5や花粉、ハウスダストから家族を守る、ビルトイン空気清浄器付きのお家です。

●詳しくは－
わが家は『健康一番家』
株式会社大成建託
〒306-0405
茨城県猿島郡境町塚崎2542-1
☎0280-87-6177
健康いちばんや